



SUZUKA 8h ENDURO 2024

第25回 スズカ8時間エンデューロ

開催日

2024.11.2 (土)

8時間・4時間エンデューロ

アタック240

定員制 / 三重県 鈴鹿サーキット



大会プログラム

主催 スズカ8時間エンデューロ実行委員会

企画・運営 株式会社マトリックス

協力 三重県自転車競技連盟
ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキット
ナスコ株式会社
Sports MC DJ PA Team 'REAL'
株式会社キャパクリエイション

鈴鹿8時間エンデューロ大会事務局

〒592-0012 大阪府高石市西取石7-7-33

TEL (072) 340-1693 (平日 10:00 ~ 17:00)

FAX (072) 340-1698

mail suzuka8h@powertag.jp

web <https://suzuka8h.powertag.jp/>



サイクルエンデューロの草分け・スズカ8耐が25回の節目！ 初心者も上級者も楽しめる 自転車の祭典——スズカ8時間エンデューロ



スズカ8時間エンデューロは2024年で25周年の節目を迎えます！日本のサイクルエンデューロの草分けとして2000年に始まったスズカ8時間エンデューロは、ロードレースでもロングライドでもないサイクルイベントとして人気を博してきました。エンデューロはライバルと競うレースとしての楽しみだけでなく、自分の目標に向けて走ったり、制限時間まで休憩をはさんだり、チームなら選手交代したりしながらマイペースで走れるロングライド的な側面もあります。イベントの舞台となる鈴鹿サーキットには信号ストップもなく、心ゆくまでライドを楽しむことができます。本大会では、上位入賞だけでなく、自己ベストの更新、仮装してパフォーマンスを楽しむなど、体力や脚力だけでなくイベントの楽しみ方を提案することで、初心者から上級者まで楽しめるイベントを目指してきました。

スズカ8時間エンデューロの特徴は、ロードバイクやMTBなどのスポーツバイクだけでなく、ミニベロやママチャリといったさまざまなバイクで参加できること。ロードバイクを持っていなくても、普段使っている町乗り自転車でも参加できます。自転車で風を切って走る心地よさに車種は関係ありません！もちろん、車種別クラスやメンバー構成によるクラス、8時間エンデューロには衰えを知らない45歳以上のメンバーによるクラスも用意しているので、表彰対象がその分多いのも特徴。今年もその基本的な精神は変わりません！

25回目の節目となる今年も、昨年同様に大会の看板種目である8時間エンデューロ、人気の4時間エンデューロ、ソロで長距離に挑むアタック240の3種目が実施されます。エンデューロは、チーム（8時間、4時間）またはソロ（4時間のみ）で規定時間内の周回数を競う種目ですが、必ずしも順位を競うだけでなく、休み休み走ったり過去の自分の記録に挑戦したりしても構いません。一方、アタックは、規定の距離（鈴鹿サーキット国際レーシングコース40周＝約240km）を制限時間内に単独で完走することを目指す種目。こちらは距離への挑戦という要素が強い種目です。

会場では自転車やホイールの試乗、シューズやウェアなどの試着、会場特価での物販が行われるサイクルバザールなどのイベントを予定しています。また、鈴鹿サーキットの国際レーシングコースには、遊園地や温泉なども隣接。レースの休憩中やレース後に会場をブラブラしたり、レースが終わってから鈴鹿サーキットの遊園地で遊んだり、温泉で疲れを癒したりと、さまざまな楽しみ方ができます！

あなたもこの秋、25回目の節目を迎えるスズカ8時間エンデューロに参加して、一緒に盛り上がりませんか！？



開催日 **2024 11/2** 定員制 / 会場：三重県鈴鹿サーキット (土) 大会プログラム

contents

協賛各社・大会役員・実行委員	3	競技方法	12
実施競技	3	競技規則・競技者の装備・公式記録	13
大会スケジュール	4	車両規定について	14
入場からスタートまでの流れ	5	表彰について	16
会場案内	6	メカニックサポート	17
スタート・ゴールレイアウト図	7	レース経過速報	17
選手の皆様へご案内	8	パワータグとゼッケンの取り扱い	18
ピットエリア・観戦エリアについて	9	イベントのご案内	20
サイクリストの心得&マナー	10	MC紹介	22
コース紹介	11	ホストチーム紹介	23

ご協賛各社 (50音順・敬称略)

アールケー・ジャパン株式会社
 アスリチューン
 イナーメ・スポーツアロマ
 ヴィプロス
 apt'
 OGK KABUTO
 GOKISO
 株式会社 三共社
 CCN JAPAN
 SCHWALBE
 スポーツキッド
 ゼータレーディング有限公司
 ダイアテック
 Tyrell
 DECOJASPORTS
 東レ合繊クラスター・エンドプロダクツ分科会

ネックス
 株式会社パールイズミ
 ピナレロジャパン
 FEELCAP
 FU-JIN RACING
 FOOTMAX
 BOMA ポーマ
 POC
 ボディウム
 MAVIC マヴィック
 ヨネックス
 ラバジヨ
 株式会社Re・蘇
 RIDLEY
 株式会社和光ケミカル

大会役員・実行委員

大会名誉会長 辻 義光
 大会会長 安原 昌弘
 大会副会長 吉村 慎一
 大会実行委員長 大鳥居 雅
 競技本部 待田 浩一
 決勝審判 三重県自転車競技連盟
 コースマーシャル 吉田 大輔
 実況アナウンサー スポーツMCシンジ(Team REAL)
 MC CHOCO
 計測・記録 森田 陽介
 選手受付 灘 幸宏
 式典 高橋 仁
 広報 仙頭 康廣
 救護 小倉 秀一
 撮影 高田 健司

実施競技

※参加資格はすべて大会当日の学年を適用します。

※競技に使用する自転車はすべて車両規定(P14～15)に準ずるものとします。

種目名	カテゴリー	表彰カテゴリー		使用自転車	参加資格	ゼッケン色
		ソロ	チーム			
8時間 エンデューロ	ロード	-	○	車種制限なし	中学生以上の男女	白
	ロード 45+	-	○		45歳以上の男女 ※1	
	男女混合 ※2	-	○		中学生以上の男女	
4時間 エンデューロ	ロード	○	○	ロード他 ※3	中学生以上の男女	ソロ：黄 チーム：青
	WOMEN	○	-	車種制限なし		
	フラットバー・リカンベント	○	○	フラットバー付のMTB、 クロスバイク、ミニサイクル など、リカンベント ※4		
	男女混合 ※2	-	○	車種制限なし		
	ママチャリ	○	○	市販の前かご付ママチャリ		
	ファミリー ※5	-	○	車種制限なし	小学生以上の男女	
アタック240	男女	○	-	車種制限なし	中学生以上の男女	赤

※1 45+：チーム内全員が45歳以上であること。

※2 男女混合：女性1名以上を含むこと。

※3 ロード他：チーム内でロード（ドロップハンドル）が1台でも含まれている場合はこのクラスに参加。

※4 フラットバー・リカンベント：チーム内すべてがフラットバーであること。ミニのドロップハンドルは不可。

※5 ファミリー：19歳以上女性と中学生以下の各1名を含む。もしくは19歳以上男性1名とその他メンバーが中学生以下である場合は可。

ただしチーム内で19歳から59歳の男性は1名まで。

小学生には同チームの方が伴走可能。低学年の場合は必ず同チームの方の伴走をお願いします。



大会スケジュール

- 大会当日はAM0:00～モータースポーツゲートを開門します。入場の際は「WEB参加確認証」、または右記の「観戦入場券」をスマホなどに表示（プリントアウトでも可）してご掲示ください。車両は「パドックパス」をご掲示ください。
- エンデューロのライダーズミーティングには各チームの第1走者が参加してください。大切な確認事項のお知らせがありますので、チームピットに待機している選手も必ずお聞きください。
- タイムスケジュールは都合により変更する場合があります。



スマホでアクセス
観戦入場券



※この観戦入場券で鈴鹿サーキットパークへの入場はできません

0:00～ サーキット駐車場・第7駐車場入場
シャトルバスは5:00より運行
モータースポーツゲート入場

5:00～ 開門・受付開始（ピットNo.45-46）
ピットエリア・テントエリア開放

※開門前はフェンスで閉鎖されています。
入場後は5:00の一斉開門まで待機してください。
※受付はスタート30分前までに済ませてください。

6:20～ ロードレース講習会
開始5分前までに表彰会場に集合

6:30～7:15 試走
本コースを初めて走る方や初者は必ず試走してください。
参加者以外は走行できません。コースインは7:15まで。

7:20～ 選手招集（先着順）
ソロ選手およびチームの第1走者は集合エリアにお集りください。8時間エンデューロとアタック240はピットロード出口、4時間エンデューロはピットロード入口が集合エリアになります。
〈スタート・ゴール レイアウト図 → 7P〉

7:30～ 選手コースイン
各集合エリアより誘導に従い順次コースインしてください。

7:45～ ライダーズミーティング

コース上スタートラインに整列した状態で行います。各チームの第1走者とソロ選手が参加してください。大切な確認事項のお知らせがありますので、チームピットに待機している選手も必ずお聞きください。

8:00～ 8時間エンデューロ スタート（終了時間 16:00） / アタック240 スタート

8:03～ 4時間エンデューロ スタート（終了時間 12:03）
ピットロード閉鎖・シケイン含む
（入口：各競技終了5分前～出口：各ゴール時刻より20分間）
※ピットロード閉鎖の時間帯は選手交代できません。

12:30 4時間エンデューロ 表彰式・じゃんけん大会

16:30 8時間エンデューロ /アタック240 表彰式・抽選会

- 8時間エンデューロ /アタック240ゴール時、仮装チームメンバー全員でゴールできるパフォーマンスパレードを実施します。
- 4時間エンデューロ終了後のじゃんけん大会はどなたでも参加可能です。
- 抽選会は、8時間エンデューロ /アタック240終了後に1回実施となります。抽選券をお持ちの方のみご参加いただけます。
- お帰りの際は会場内の荷物は全て撤去してください。

第7駐車場から入場

入場：AM0:00～

第7駐車場～会場間のシャトルバスを運行いたします。



シャトルバス運行時間（予定）
第7駐車場発 5:00～9:00
会場発 14:30～18:00

モータースポーツゲートから入場

入場：AM0:00～

※入場経路など詳細は次ページ（5P）をご確認ください。



入場からスタートまでの流れ

① 鈴鹿サーキットへの入場 (パドックパス) 0:00 ~

モータースポーツゲート、第7駐車場(1日1,000円)ともにAM0:00入場です。第7駐車場をご利用の方はシャトルバスか自転車、徒歩で会場方面へお越しください。

② ピットゲートから会場へ 5:00 ~

ピットゲート(3カ所)はフェンスで閉鎖されています。入場後は時間までパドックで待機してください。AM5:00より開門、選手受付を開始します。

③ 受付(計測タグ・ゼッケン受取) 5:00 ~

AM5:00より受付開始します。ピットNo.45-46まで代表者1名がお越しください。受付はWEB参加確認証(メールで送信)のQRコードで行い、計測タグとゼッケンをお渡しします。

④ 試走 6:30 ~ 7:15

コースインは7:15まで

ロードレース講習会 6:20 ~

5分前までに表彰会場へ

AM6:30 ~ 7:15の試走時間を利用してコースを確認してください。AM6:20よりチームマトリックスによるロードレース講習会を行います。走る準備をして、開始5分前までに表彰会場にお越しください。

② 招集・コースイン 7:20 ~

チームの場合は第1ライダーのみ

ピットレーンにて2カ所で招集を開始します。8時間エンデューロとアタック240はピット出口側、4時間エンデューロはピット入口側にお集まりください。後方よりゆっくりスタートされる方は、コースインのタイミングでコースにお集まりください。

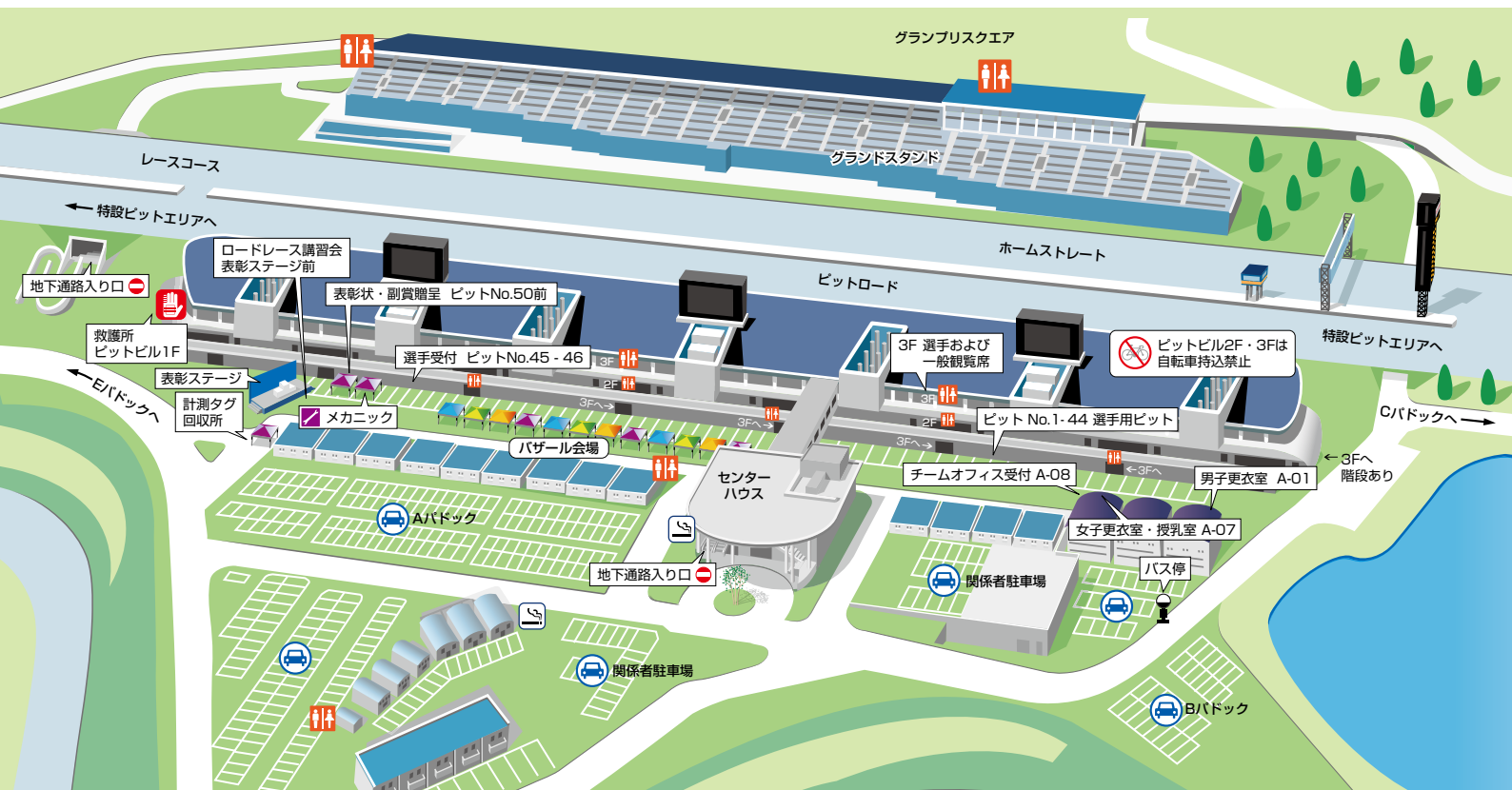
④ スタート(8時間/アタック) 8:00 ~

スタート(4時間) 8:03 ~

8時間エンデューロ / アタック240を先頭に時差スタートとなります。メンバー交代、休憩の場合はピットエリアを利用してください。



会場案内



！ 遊園地内は自転車持ち込み禁止

自転車を遊園地内に持ち込むことは禁止されています。一般のお客様のご迷惑になりますのでご注意ください。

！ 鈴鹿サーキットパークとの往来について


鈴鹿サーキットパーク～レース会場の往来は「鈴鹿サーキットパーク入園券」または「パスポート」所有者のみ可能です（開園時間帯のみ）。大会発行の「WEB参加確認証」や「観戦入場券」での行き来はできません。第7駐車場から鈴鹿サーキットパークへの入場もできませんのでご注意ください。

！ ピットビル2F・3Fへの自転車持込禁止

ピットビル2F・3Fへの自転車持ち込みは禁止されています。自転車は1Fのピットロード周辺かパドック側に、バイクラックやスタンドに止めて施錠するなど、各自で管理してください。

！ ゴミは各自お持ち帰りください

パドックのゴミ箱が削減されています。ゴミはお持ち帰りいただけるようご協力をお願いします。

 ペットを連れてのご入場はできません

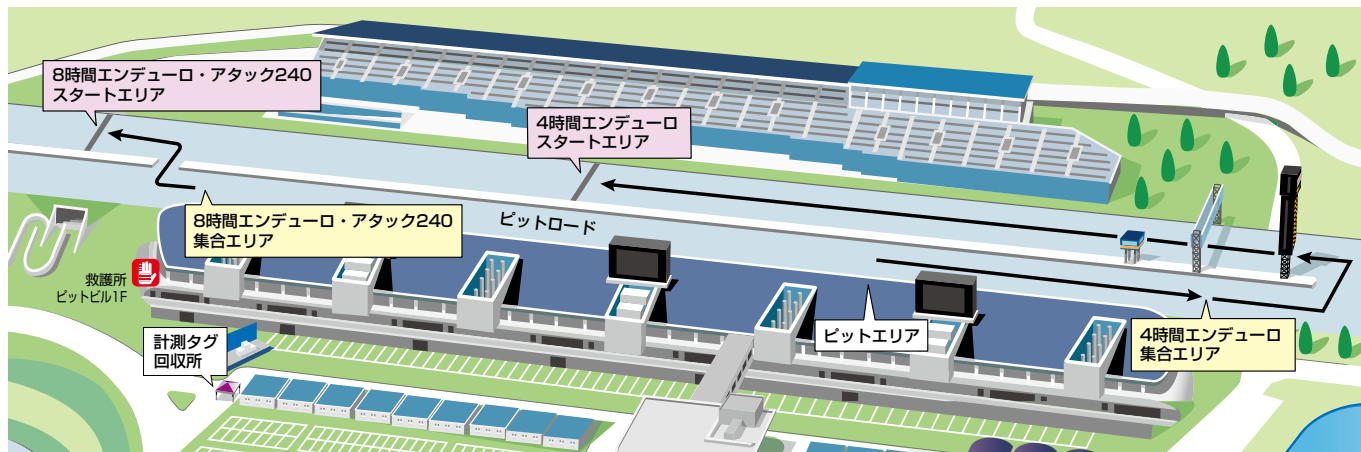
 喫煙場所
喫煙は所定の場所です

会場内火気厳禁



スタート・ゴール レイアウト図

集合・スタートエリア 〈8時間エンデューロ・4時間エンデューロ・アタック240〉

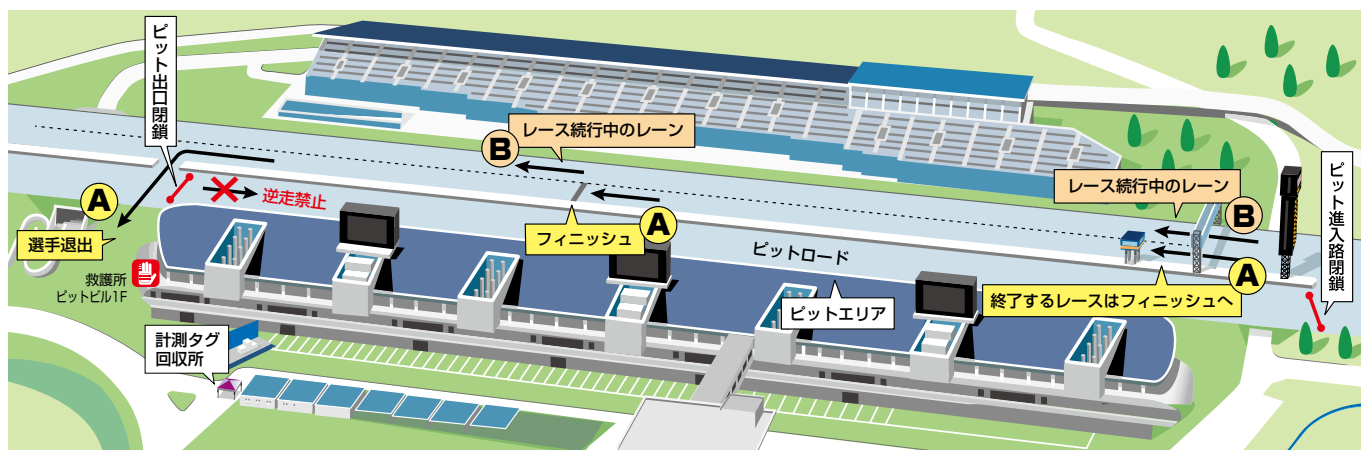


●ライダーズミーティング 7:45 ~

※コース上スタートラインに整列した状態で行います。各チームの第1走者とソロ選手が参加してください。大切な確認事項のお知らせがありますので、チームピットに待機している選手も必ずお聞きください。

- 8時間エンデューロ・アタック240 スタート 8:00 ~
- 4時間エンデューロ スタート 8:03 ~

フィニッシュ 〈8時間エンデューロ・4時間エンデューロ・アタック240〉



- 4時間エンデューロ ゴール 12:03
- 8時間エンデューロ・アタック240 ゴール 16:00

競技が終了した選手は上図の「**A** 終了するレースはフィニッシュへ」ラインを走行し、フィニッシュ後は退出してください。レース続行中の選手はコース右側の「**B** レース続行中のレーン」を走行してください。

●ピットロード閉鎖

終了するレースの選手がゴールしている時間帯（入口：各競技終了5分前～ 出口：各ゴール時刻より20分間）はピットロードを閉鎖します。この間レース続行中の選手はピットロードに進入できません。

※シケイン特設ピットでも実施。

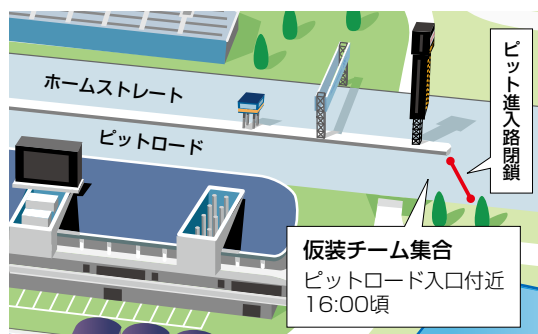
※競技が終了した選手はピットの荷物などを片付けて、競技中の選手に場所を譲るようにしてください。

※自動計測器「パワータグ」の返却

チームオフィス横に「パワータグ回収所」を設けています。レース終了後には必ず返却してください。

※仮装チームメンバー全員でゴールできる「パフォーマンスパレード」を実施します。コスプレなどのパフォーマンス賞狙いで、ゴールタイムにこだわらないチームは、最終走者とともにメンバー全員で最後のアピールができます。8時間エンデューロ/アタック240が終了する16:00頃に、チーム衣装を着用して自転車に乗って、閉鎖したピットロード入口付近（図）にお集りください。

※パレードは種目を問わず仮装した参加者であればどなたでも参加できます。ヘルメットは必ず着用してください。



選手の皆様へご案内

試走（参加者以外は不可）AM6:30～7:15

初心者や鈴鹿サーキットコースを初めて走られる方は、必ず試走してください。路面状況やコーナーの曲がり具合を事前に知っておけば安心して走れます。

コース使用の注意

コースは試走時間およびレース以外での自転車の乗り入れはできませんのでご注意ください。

ヘルメットの着用

試走およびレースでコースを走行する場合は必ずヘルメットを着用してください。ヘルメットは日本自転車競技連盟公認のものでなくても結構ですが、ご自身の責任で判断してください。（但し、硬質外殻を持つヘルメットに限る/P13参照）

※ヘルメットは転倒時に外れないよう、アゴひもをしっかり固定してください。

※グローブなど安全装備の着用を強く推奨します。

場内アナウンス

大会運営上の変更点のお知らせや緊急の呼び出しなどは場内アナウンスを使用しますので、速やかな対応をお願いします。

インフォメーションボード

今大会インフォメーションボードは設置いたしません。レース結果はスマートフォンやタブレットなどから〈LAP CLIPウェブサイト〉でご確認ください。

更衣室・授乳室

ピット裏チームオフィス A-01に男子更衣室、A-07に女子更衣室を用意しています。またA-07に授乳室を設けています。赤ちゃんやお母さんの休憩にご利用ください。（P6参照）

トイレ

トイレは鈴鹿サーキットのピットビルやチームオフィスなどの施設にあります。

喫煙場所

会場での喫煙は、所定の喫煙場所でしてください。ピット、パドックほか会場内での火気は厳禁です。

ゴミは各自お持ち帰りください

パドックのゴミ箱が削減されています。ゴミはお持ち帰りいただけるようご協力をお願いします。

チームカー専用駐車場

パドックパーキングパスで入場したチームカーはA・B・C・Eパドックの指定の場所に駐車してください。

※テントやテーブル、機材などで駐車場を使用することは禁止です。

お問い合わせ先

大会に関するお問い合わせは選手受付にて対応いたします。

チームピット

WEB参加確認証（メール送信）にてチームのピットNo. をご確認ください。各チームは指定されたチームピットを使用してください。（ピットエリアはテント、タープ禁止。火気厳禁）

接触や追突に注意

競技の性質上、コース上にスピードの異なる走者が同時にたくさん走るようになります。接触や追突などに十分注意し、お互いにマナーを守ることを心がけましょう。

走行中のマナー

！ 他の選手の衣装や体には絶対触らないこと

選手はレース中に走行レーンを守って他の選手に迷惑をかけないようにしてください。特に他の選手にむやみに接近したり、衣装や体に触れることは危険ですので絶対にしないでください。これらの行為で恐怖を感じたり、また転倒して大きな事故に至ることもあり得ます。みんなが気持ちよく走れるよう心がけましょう。

ご使用いただける車両・付属品など

使用可能な自転車、付属品や装備品、使用禁止のご注意点については〈車両規定について〉P14～15にまとめています。併せてご覧ください。

競技中の禁止事項

走行中のビデオ・写真や撮影の操作、走行中の携帯電話の操作、携帯プレーヤーなどで音楽を聴きながらの走行は危険です。お止めください。

※大会主催者が認めた場合を除いて、営利を目的とした動画および写真撮影を禁止します。

小型無人飛行機等の禁止

サーキット施設内で許可なく小型無人飛行機等（ドローン・ラジコン等）の操縦・飛行等の行為を禁止します。

スポーツ傷害保険について

参加者全員を対象に傷害保険（通院日数×2,400円、入院日数×3,500円、死亡後遺障害300万円）に加入しています。この補償内容で不十分な方は、各自で別途加入してください。なお、競技中に起きた事故については、たとえ軽傷であっても、必ずその日のうちに救護所に申告してください。当日連絡できなかった場合は、2日以内に代理店へ連絡してください。連絡がない場合は保険金が支払われません。

●スポーツ傷害保険 代理店 株式会社保険コンシェルジュ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町11-34 第10マイダビル5階
TEL (06) 6227-8935 FAX (06) 6227-8936

貴重品の管理

大会開催中、参加者自身の自転車および貴重品等は、各自の責任において管理してください。

- 全ての競技結果は、順位・氏名・チーム名をレースリザルトとしてオフィシャルウェブサイトに掲載するほか、報道機関などに提供する場合があります。
- オフィシャルスタッフや報道機関が撮影した選手や応援者の皆様の写真は報道機関および主催者とその関係団体が使用することを承諾したこととします。

ピットエリア・観戦エリアについて

特設ピットエリア

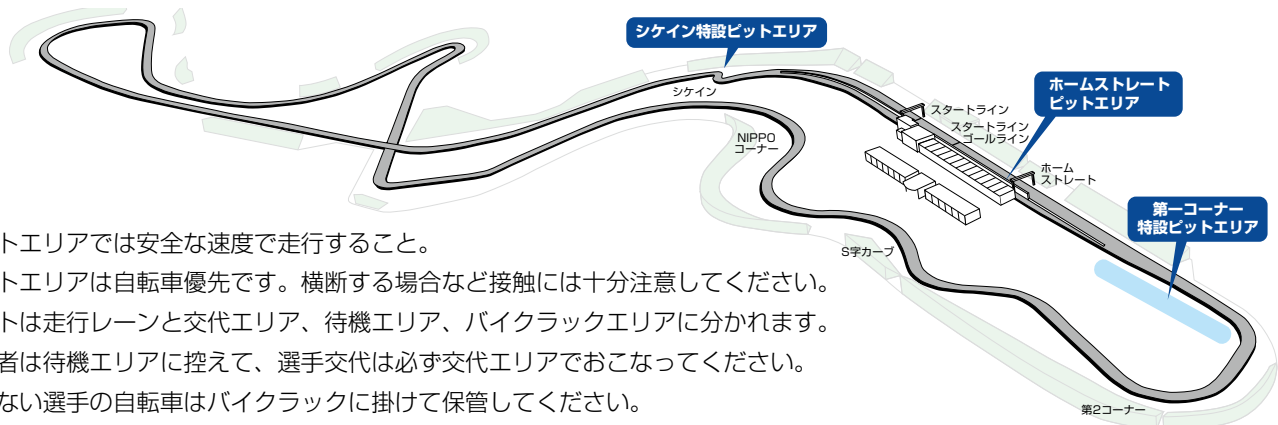
シケイン付近のコースサイドと第1コーナー側のコースサイドに特設チームピットエリアを設けます。テントなどを持参してチームピットとして使用できます。コースサイドのピットエリアなのでスムーズな選手交代が可能です。

特設ピットエリアは係員の指示に従って主催者が定めた区域を使用してください。

特設ピットエリアの使用時間はピットオープン～PM6:00までです。この時間外に残されているテント、備品などはすべて撤去いたします。

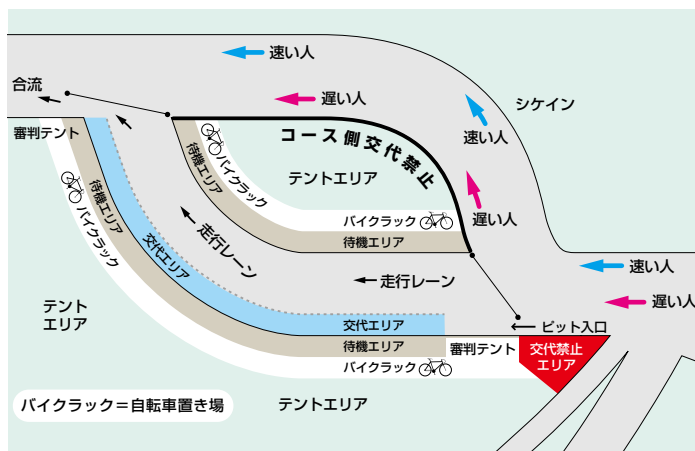
※今大会、パドック内の特設テントは設置いたしません。

▼ ホームストレートピットエリアの配置



- ピットエリアでは安全な速度で走行すること。
- ピットエリアは自転車優先です。横断する場合など接触には十分注意してください。
- ピットは走行レーンと交代エリア、待機エリア、バイクラックエリアに分かれます。
- 次走者は待機エリアに控えて、選手交代は必ず交代エリアでおこなってください。
- 走らない選手の自転車はバイクラックに掛けて保管してください。
- ピット内の走行レーンで無理な追い越しは厳禁です。
- 進路変更をする場合は後方の安全を確認してください。
- 計測タグは精密機器です。決して投げたりせず、受け渡しは慎重に行ってください。

▼ シケイン特設ピットエリア図



チーム特設ピットエリア (シケイン)

シケインに設けられた特設ピットエリアの入り口と出口には審判テントを設置し、公正なレース運営にあたります。このピットエリアは、本大会が特別に定めたピットエリアです。このためピットへの入り方や出口から本コースへの合流など、注意が必要です。また、参加選手は走行レーンや待機エリア、バイクラックエリア、テントエリアなどの区域を十分認識していただき、お互い協力して安全で楽しいレースに心がけてください。

※シケイン特設ピットでもピット閉鎖を行いますのでスタッフの指示に従ってください。

※シケイン特設ピット付近にテントを張る場合は決められた場所に設置してください。

❗現在、シケイン特設ピットエリア付近のトイレが故障中で使用できません。ピットまたはパドックのトイレをご利用ください。

観戦エリアについて

スズカ8時間エンデューロではギャラリーの皆様楽しく安全に応援・観戦していただくために観戦エリア(図の黄色いエリア)を定めております。

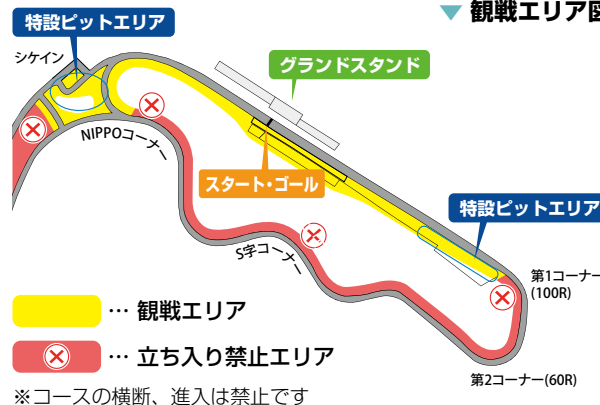
コースサイドでの応援・観戦は危険を伴うことがありますので指定された観戦エリア内で十分注意して観戦してください。

特にインコース側では、選手はコースの端ぎりぎりを走行してきますので、応援はコースから離れたところでしてください。

ピットエリアでは応援・観戦のマナーをしっかり守ってください。

ピットロードを横断する際は必ず選手が走ってきていないことを確認して渡ってください。

▼ 観戦エリア図



サイクリストの心得&マナー

レースはルールによって成り立っている競い合いです。一番大切なのは、他のサイクリスト(仲間)を危険な状態にしないという思いやりの気持ちです。安全走行で楽しいレースにしましょう。

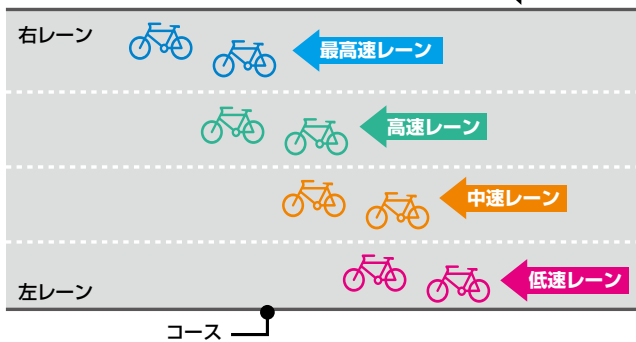
安全にレースを走る為の心得

スズカ8時間エンデューロでは、速度差のある選手が同じコースを混走します。その状況で走行中の安全を確保するためには、参加選手である皆様の協力が必要です。

① 走行レーンの維持

鈴鹿サーキットコースを反時計回りで競技を行います。ゆっくり走る方はコース左側のレーンを、前走者を追い越す場合は右側のレーンから追い越します。追い越した後しばらく右側のレーン走行を維持します。サーキットには普通道路のように車線を区切るラインはありませんが、4本のラインで仕切られた走行レーンを走るイメージで走ってください。(下図参照)

コース走行レーンのイメージ図



② 視野を広く確保する

前の選手だけを見るのではなく、目線を上げて100m先を見るつもりで前方の動きを把握して走行しましょう。

③ 急な進路変更は厳禁

レース中は集団で走行しているので、自分の前後左右には他の選手が走行しています。進路変更やピットへ入る時は手で合図をするなど、注意を促して、安全を確認してから進路変更しましょう。

④ 声出しをしよう

追い越しを行う時は「右、通ります」、ピットへ入る時は「ピットへ入ります」と一声掛けると、周りにはいる選手もその動きに対して構える事ができるので、選手同士の接触を防止する事につながります。

⑤ よそ見をしない

視線は常に前を向けて走ろう。コース脇からの声援に視線を向けたり、苦しくなって下を向いて走らないように注意しましょう。前方を見ていないうちに、自転車は意外に前へ進んでいます。

※スタート時は沢山の選手に囲まれてスタートしますので、特にこの5つを厳守しましょう。

※ピットエリアでは安全な速度で走行・横断注意。

サイクリストとしてのマナー

自分が怪我をしないように、また他の選手を事故に巻き込まないためにも以下の2つを守って下さい。

! スタート前のチェック

- 自転車の安全点検
- ヘルメットのチェック：損傷がないかチェックして、アゴ紐を締めて正しく被ります。浅く被ったり、深く被りすぎても万が一の時にヘルメットの性能が発揮されません。(注意)ヘルメットは経年劣化します。購入後3年間で保護性能有効期間です。
- 服装のチェック：靴紐やズボンの裾などがギアなどに絡み付くと危険です。できるだけ体にフィットする服装で走行しましょう。
- 計測チップ：計測チップは正しく装着しましょう。間違った向きや場所に装着すると正確な記録が計測できない恐れがあります。

! 走行中にトラブルが発生したら

① パンク

- 手を上げたり、「パンク」と声をだして周囲の選手にパンクした事を伝えます。
- 急停車するのではなくゆっくりと減速し、後方から来る選手に注意を払いながらコース左端へ退避し、コースから出て停車します。(急停車・急な進路変更は後ろからの追突事故につながります)
- コース脇を自力でピットまで戻ってください。無理な場合は近くの大会スタッフに現状を伝えてください。

② 転倒した場合

- 転倒時は、体を出来るだけ小さくして最後までハンドルから手を離さないようにしましょう(手を離して手から着地すると鎖骨が折れることがあります)。動ける場合は周囲の安全を確認してコース脇へ移動します。無理な場合は体を丸めて小さくなり、スタッフの到着を待ちます。直ぐにスタッフが駆けつけます。



コース紹介

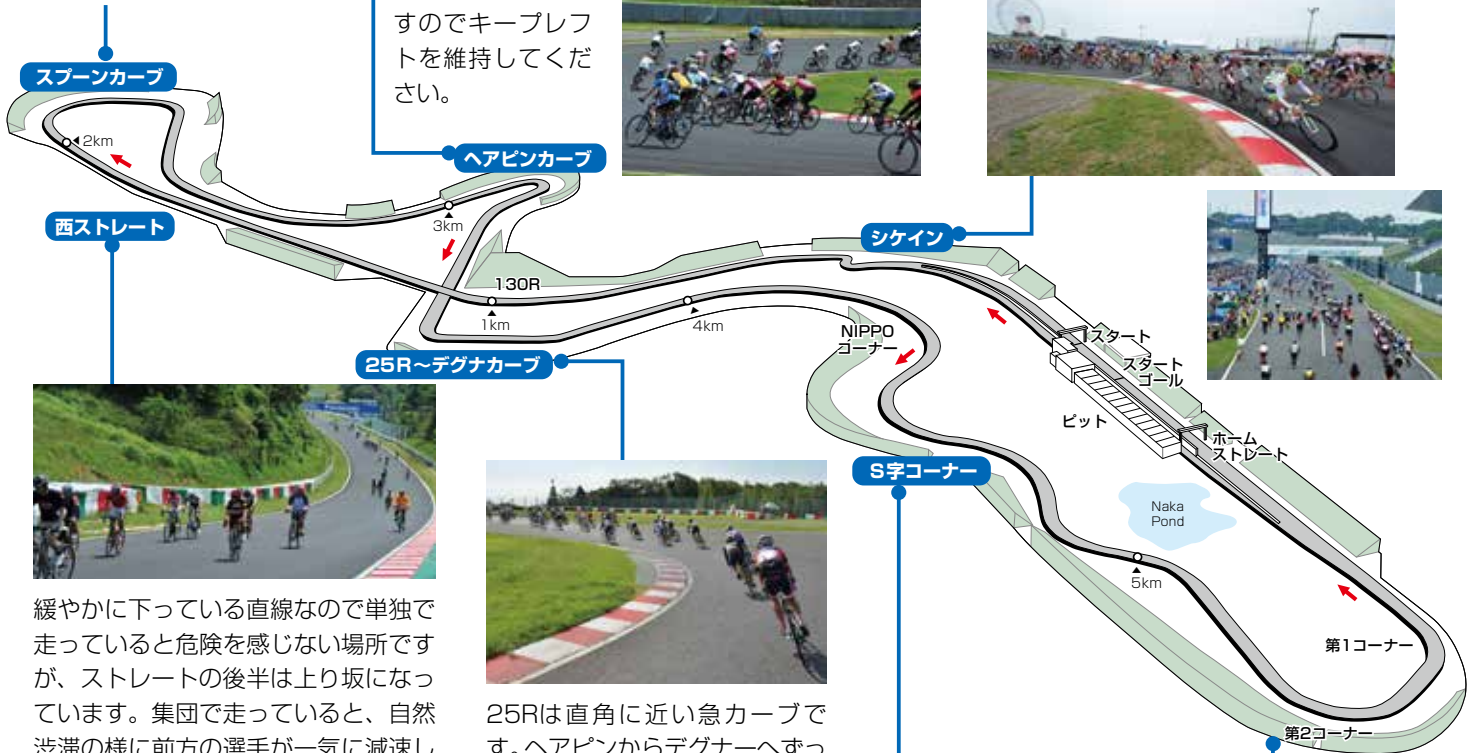
左側(アウトコース)をゆっくり走っている選手は、心理的にコースの中央寄りを走りたくなります。しかし、右後方から速い選手が次々と来ますのでキープレフトを維持してください。



緩やかに下りながら急カーブしている文字通りヘアピンカーブです。左側(アウトコース)をゆっくり走っている選手は、心理的にコースの中央寄りを走りたくなります。しかし、右後方から速い選手が次々と来ますのでキープレフトを維持してください。



アルファベットの「Z」形のように鋭角に曲がりかねたコーナーになっています。アウト・イン・アウトのラインで走ろうとすると、並走している選手と接触します。必ず自分が走っているレーンを維持して走りましょう。



緩やかに下っている直線なので単独で走っていると危険を感じない場所ですが、ストレートの後半は上り坂になっています。集団で走っていると、自然渋滞の様に前方の選手が一気に減速しますので、追突に注意しましょう。また、ギア変速によってチェーンが外れて失速する選手や、止まっている選手もいます。目線を遠くして、前方の動きに注意しましょう。

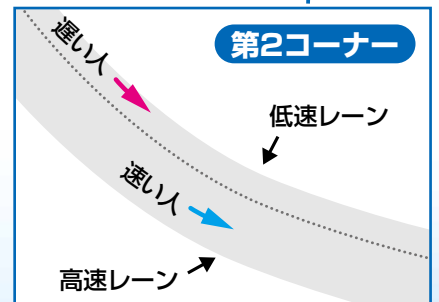
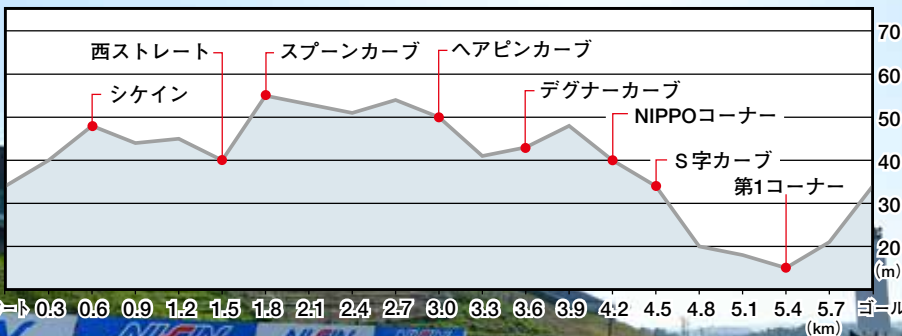


25Rは直角に近い急カーブです。ヘアピンからデグナーへずっと下りが続いているのでスピードコントロールしてください。右側から追い越す選手は、左側を走行している選手の走行レーンを塞がない様に注意しましょう。



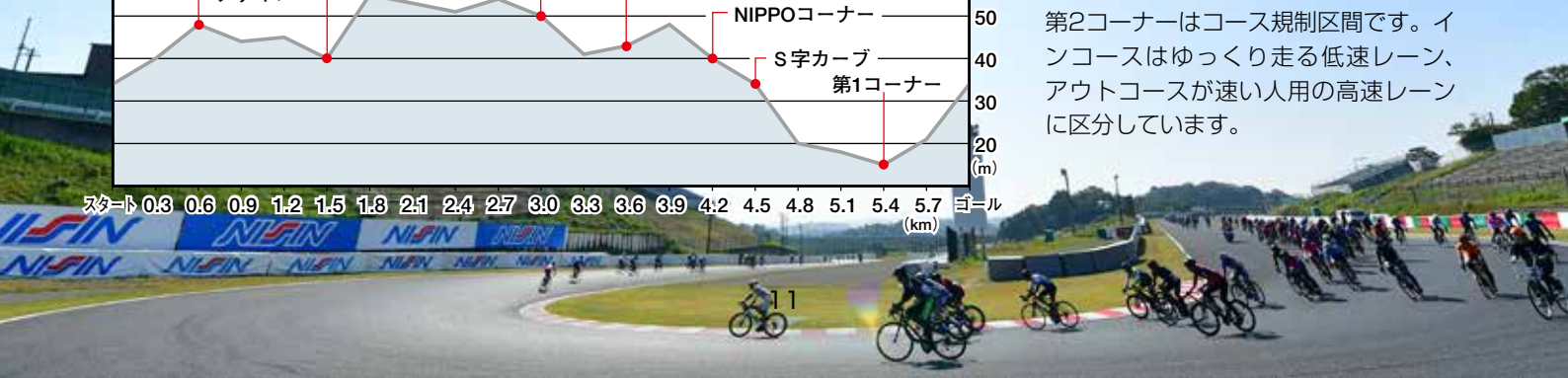
NIPPOコーナーからS字カーブ、第2コーナーへと連続して下りのカーブが続きます。自分の技量を自覚してコントロールできるスピードを維持しましょう。左側(アウトコース)をゆっくり走っている選手は、心理的にコースの中央寄りを走りたくなります。しかし、右後方から速い選手が次々と来ますのでキープレフトを維持してください。

鈴鹿サーキットコース高低差図(フルコース=1周 5.807km)



第2コーナーコース規制区間

第2コーナーはコース規制区間です。インコースはゆっくり走る低速レーン、アウトコースが速い人用の高速レーンに区分しています。



競技方法

エンデューロ 競技方法

- 1) 競技は定められたコースの周回を重ねそれぞれ所定時間を経過した後競技を終了し、走行した周回数およびゴール着順により順位を決定します。チーム参加の場合はアンクルバンド(チーム用計測タグ)を次走者に繋ぐリレー形式で走行します。
- 2) スタート時は先着順に整列し、オートバイの先導によるローリングスタートで競技を開始します。
- 3) カテゴリーは種目によりソロおよびチーム対抗とし、8時間・4時間の耐久レースを実施します。それぞれ総合順位賞を設けています。(詳細は表彰についてを参照)
- 4) チーム構成は8時間エンデューロ:2~6名、4時間エンデューロ ロード:1~5名、WOMEN:1名、フラットバー・リカンベント:1~5名、男女混合:2~5名、ママチャリ:1~5名、ファミリー:3~4名とします。使用する自転車は同一チーム内であれば共有する事が出来ます。
- 5) 競技中の選手交代は、あらかじめ定められた各チームピット前のピットレーンにてチーム用計測タグの交換により行います。選手交代のタイミングは同一チーム内で自由に行え、チーム用計測タグを装着した選手のみ走行できます。



- 6) ピットレーンの出入口を下記の時間帯に一時的に閉鎖します。エンデューロに出場されている選手はその間、交代できませんのでご注意ください。

ピットロード閉鎖時間・シケイン含む

入口:各競技終了5分前~ 出口:各ゴール時刻より20分間

- 7) 規定時間を過ぎてゴールラインを通過し、レースを終了した選手はシケイン手前からピットロードから退出して、速やかに計測タグを返却した後、各チームピットへ戻ってください。

アタック 競技方法

- 1) 競技はソロでチャレンジする「アタック240」を実施。スタートはバイクの先導により誘導します。バイクからの合図で一斉にスタートする「ローリングスタート」で競技を開始します。8時間以内にサーキットを40周回(232.28km)走破し、ゴールタイムを競います。
- 2) 順位は規定時間内の周回数で決定します。(なお、同一周回数の場合はゴール順位の優劣により決定します)
- 3) 制限時間終了後は新たな周回には入れませんが、周回途中で制限時間となった場合の周回は有効となり、この周回を含めて40周回走破すると完走となります。
- 4) 周回板の掲示はいたしません。周回数の管理は選手個人の責任とします。サイクルメーターやLAP CLIP(リアルタイム速報)などをご利用いただくか、ホームストレートのゴールライン後方に設けられた「アタック周回確認所」をご利用ください。メーターやスマホなど操作する場合は必ずピットに停止してください。



- 5) 制限時間内にゴールした選手はコース上に立ち止まらず、シケイン手前から左へ折れてピットロードを通過して速やかにコースアウトしてください。完走した選手全員に、完走記念品をお渡しいたします。(ゴール後~17:00まで)選手受付にゼッケンをお持ちください。
- 6) ピットレーンの出入口を下記の時間帯に一時的に閉鎖します。コースとピットレーンとの出入りが出来なくなりますのでご注意ください。

ピットロード閉鎖時間・シケイン含む

入口:各競技終了5分前~ 出口:各ゴール時刻より20分間

※長時間のソロ競技ですので補給食や休憩を取ることも考えて、自身の体調管理には十分注意してください。



競技規則・競技者の装備・公式記録

競技規則

- 1) 本大会は（公財）日本自転車競技連盟の規則に準じ、本大会の特別規則によって実施します。
- 2) 競技規則および競技運営・管理上の規定を厳守してください。
- 3) 競技は、計測タグ使用による自動計測システムにて実施します。もし計測タグを装着せずに競技に参加した場合、成績が表示されませんのでご注意ください。
- 4) 車検は行いませんので、各自責任を持って常に完全に整備された自転車を用いて参加してください。
- 5) スタート地点への移動途中やローリングスタート走行中の無理な追い越しや割り込み等、危険行為、迷惑行為を禁止します。
- 6) インデューロのスタートはバイクの先導により誘導します。バイクからの合図でスタートする「ローリングスタート」で競技を開始します。
- 7) 全ての競技においてスタート時間に遅れた競技者およびチームは、遅れた時間分をロスタイムとして計測します。
- 8) コースで他の参加者を追い抜く場合、原則的に右側から追い抜くものとします。
- 9) ピットレーン走行中は原則として他の競技者を追い抜く事を禁止します。
- 10) コース走行中、自分の走行ラインを斜めに変更する場合、必ず変更する側の後方確認を行い安全であるか確認することを義務付けます。
- 11) 競技中および試走時間中にコースを逆走することは安全管理上一切禁止します。
- 12) 競技者は、ボトル、スペアタイヤ、修理用具等を携帯できますが、ガラス容器その他危険物を携帯してはいけません。なお、携帯したものをコース上およびその周辺に破棄する事を禁止します。
- 13) 競技中、完走打ち切りは原則として実施しませんが、審判委員および医務員から競技の中止を指示された競技者は、直ちに競技を中止してください。
- 14) 競技は参加申込にてエントリーした選手のみが出場できます。なお事前に大会本部（選手受付窓口）に、参加者変更の連絡を申し出ている場合は、代理人の出走を認めます。
- 15) 競技参加者は競技役員の指示に従ってください。
- 16) 大会開催中、参加者自身の自転車および貴重品等は、各自の責任において管理してください。
- 17) 飲酒による出走を禁止します。
- 18) 危険行為、迷惑行為、規則違反、マナーや風紀を乱すなど、競技者として不適当な行いがあった者（チームやグループ）には警告と周回数減などのペナルティーを与えます。悪質な行為や警告が度重なる場合はレースから除外します。

- 19) 携行した飲食料の飲食はコース走行中も可能ですが、飲食料を補給する場合はピットエリア内で必ず停車して行ってください。第三者からの補給を受ける場合もピットエリア内で停止して行ってください。
- 20) 同一チームで複数名が同時に走行することを禁止します。アンクルバンド（チーム用計測タグ）を装着していない選手は走行出来ません。

※試走・パフォーマンスパレードは省く

- 21) ゼッケンや計測タグは決められた方法で指定の場所に取り付けること。
アンクルバンドタイプ計測タグの受け渡しは必ず交代エリアで停止して行うこと。走りながらの取り外しや装着、受け渡しは禁止します。

競技者の装備

- 1) 全ての競技者は落車時に頭部を保護する為に、ヘルメットのアゴひもをしっかりと締めた着用を義務付けます。使用ヘルメットが、使用上安全であると認められるものはJCF(日車連)公認の物でなくても使用を認めます。(但し、硬質外殻を持つヘルメットに限る)
- 2) 全ての競技者は、主催者から用意されたゼッケン及び計測タグを指定の位置に取り付けることを義務付けます。

※衣装および車輛の装飾については、極端な突起物および走行上著しく操作を妨げる形状の装飾物を取り付けることは認めません。
仮装衣装は、ノースリーブや極端な露出の衣装を着用することを禁止します。
着用する衣装の丈の長さは、車輪巻き込み防止のため膝頭より上とし、走行時に本人を含む、周りの方へ危険を与えない事。

公式記録

- 1) 競技記録は以下の手順にて公式記録となります。
- 2) レース終了後、直ちに通告員より入賞対象選手またはチームを場内（ピットエリア）アナウンスします。同時にウェブサイトに全てのレース結果を掲示します。
- 3) 通告、掲示後10分経って意義申し立ての無い場合、競技結果は公式記録として確定します。



車両規定について

車両規定

- 1) フリーホイール式であり、正常に作動するブレーキが前輪と後輪それぞれに装着されていること。
- 2) サーキットでの高速走行に耐える強度を備え、よく整備された自転車であること。
- 3) ディスクブレーキの使用を認めます。
- 4) 電動アシスト付自転車、タンデム車、ピスト（固定ギア）は出場できません。

ホイールについて

- 1) ディスクホイールはパフォーマンス目的での利用に限り使用可能とします。集団走行での使用は認められません。
- 2) バトンホイール・スピナジーの使用は認められません。

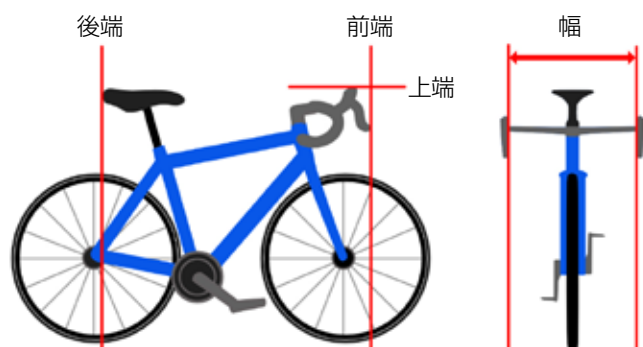
カメラについて

- 1) スポーツ用の市販小型カメラで、取付具は自転車を使用するために設計された市販品に限ります。
- 2) 取付はハンドル／サドルのみとしハンドルの上端、前端、幅を超えないこと。
- 3) 後部はサドルの後端を超えないこと。
- 4) 落車の際に選手本人や他の選手に危害を及ぼす可能性がある位置や装着方法は認めません。
- 5) 撮影した映像・画像は営利目的やほかの参加者の迷惑や大会運営の妨げになるような使用は禁止です。

●カメラの取付例



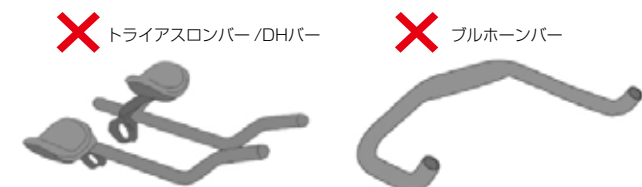
●カメラの取付位置



ハンドルについて

- 1) トライアスロンバー、DHバー、アタッチメントバー、ブルホーンバーの使用は認められません。
- 2) フラットハンドルバーのエンドバーは認めますが、エンドバーを本来の目的以外に使用する事を禁止します。

●使用不可ハンドル一例



●バーエンドバー取付例



その他付属品など

- 1) センタースタンド以外の、1本足スタンドは必ず外して走行してください。



- 2) ボトル、スペアタイヤ、修理用具等を携帯できますが、ガラス容器その他危険物を携帯してはいけません。
- 3) 競技に不要で危険を及ぼす可能性のある部品は取外すこと。

ライト・リフレクター・ミラー・カゴ・泥除け・ベル・鍵・荷台・スタンド・ハンドルに取り付けるボトルホルダーなど
※ママチャリを除く



車両規定について

4) 装着可能な物

サイクルボトル・ボトルゲージ・サイクルコンピューター・サドルバッグ・携帯用空気入れ・サドル後方のボトルゲージ・ツールボトル

※ミラーは10cm以下で飛散しない材質のこと（ガラス禁止）。但し、集団走行をする（可能性がある）場合は、装着不可です。



5) 通信機器（トランシーバー等）を使用する場合は、片耳イヤホンとし走行中の操作を禁止します。なお、会話に集中しすぎ、走行に際して注意散漫にならない様にする

走行中の禁止事項

1) レース・試走にかかわらず走行中の写真撮影や携帯電話の使用、携帯プレーヤー等で音楽を聴きながらの走行は禁止です。



2) 走行中のビデオ、カメラ、携帯電話などを操作、携帯プレーヤー等で音楽を聴きながらの走行は禁止です。コース脇に止まったのの写真撮影や携帯電話の使用も禁止です。

※車両規定や禁止事項の違反、装備の使用方法が本来の目的以外の使い方で車両規定違反と判断した場合は、審判長の判断により走行禁止や規制を加えられる場合があります。

※自転車や装備について詳細は大会事務局までお問い合わせください。

自転車

●ロード

通常ロードレーサーと呼ばれる車種全般とドロップハンドルを装着した車種とします。このカテゴリーへのクロスバイク、MTBでの参加もOKです。その場合タイヤサイズの規制及びフラットバー使用の規制はありません。



●フラットバー

クロスバイク、MTBなどフラットハンドル付の自転車。車輪径とタイヤの太さの制限はありません。エンドバーの使用は認めますが、緊急時のブレーキ操作が可能なブレーキレバーを装着した自転車のみとします。スリックタイヤの使用は可能です。



●ミニ（小径車）

前後の車輪径が22インチ以下のドロップハンドル以外のスポーツ車であれば基本的に車種や変速機の制限は設けません。ただし、高速走行に耐えうる十分な強度を備えた自転車であること。



※ミニのドロップハンドルはロードクラスとなります。

●リカンベント

リクライニングポジションで乗車する、リカンベントタイプの自転車です。カウリング付きも認めますが、単独で乗り降り可能な形状のみとします。



※目印となるフラッグを装着すること。

●ママチャリ

前カゴ、泥除け付きの通学用及び買い物用などに使用される一般市販の自転車（無改造車）。変速機付の場合は内装仕様のみ認めます。（外装変速機は禁止）



※ペダル(足の固定)、スリックタイヤ、ハンドル、サドルなどの交換や軽量化など速くする為に手を加えることは禁止。

※装飾は可能であるが、極端な突起物および走行上著しく操作を妨げる形状の装飾物は禁止。



表彰について

表彰ステージ上で1.2.3位の選手・チームの表彰式を行います。表彰式対象者・関係者の方は表彰会場までお越しいただき、表彰受付を済ませてください。レース結果はスマートフォンやタブレットなどから〈LAP CLIP ウェブサイト <https://matrix-sports.jp/lap/>〉でご確認ください。



LAP CLIP

※リザルト掲示板・インフォメーションボードは設置いたしません。
 ※参加者（チーム）が10組に満たない場合は入賞対象を3位までとします。
 ※アタック240クラス（年代別など）の表彰対象は完走者のみとなります。

※上位入賞者への表彰状や各副賞は当日会場でお渡しします。後日事務局から発送することはありませんので必ず当日お受け取りください。

8時間・4時間エンデューロ

●総合順位賞

8時間、4時間エンデューロにはそれぞれ総合順位賞を設けます。それぞれの総合順位の1位には、その栄誉をたたえチャンピオンジャージを贈呈いたします。

8時間、4時間エンデューロそれぞれ総合順位賞1位～3位のチームに賞金を贈呈します。



●年代別表彰

ロードソロは別途年代別1位のみ賞状と副賞を授与いたします。（29歳以下、30代、40代、50代、60歳以上）

※ソロ、総合入賞以外が対象です。女性カテゴリーは対象外です。

●表彰式

各カテゴリーの1位、2位、3位の選手は表彰ステージにおいて表彰式を行います。表彰対象選手は表彰ステージ前にお集まりください。

●カテゴリー別順位賞

ロードソロは上位3位まで、チームエンデューロの各カテゴリー上位6位までに賞状と副賞を授与いたします。

種目/カテゴリー		表彰式	表彰状・副賞	賞金/盾	チャンピオンジャージ
8時間 エンデューロ	総合	1～3位	-	○	○
	ロード/チーム	1～3位	1～6位	-	-
	ロード 45+	1～3位	1～6位	-	-
	男女混合	1～3位	1～6位	-	-
4時間 エンデューロ	総合	1～3位	-	○	○
	ロード/ソロ	1～3位	1～3位（総合と重複あり）	-	-
	29歳以下	1位	1位（ロード/ソロ1～3以外）	-	-
	30代	1位	1位（ロード/ソロ1～3以外）	-	-
	40代	1位	1位（ロード/ソロ1～3以外）	-	-
	50代	1位	1位（ロード/ソロ1～3以外）	-	-
	60歳以上	1位	1位（ロード/ソロ1～3以外）	-	-
	ロード/チーム	1～3位	1～6位	-	-
	WOMEN/ソロ	1～3位	1～6位	-	-
	男女混合	1～3位	1～6位	-	-
	フラット・ミニ・リカンベント	1～3位	1～6位	-	-
	ママチャリ	1～3位	1～6位	-	-
ファミリー	1～3位	1～6位	-	-	

アタック240

●総合順位賞

総合順位の1位の選手には、その栄誉をたたえチャンピオンジャージを贈呈いたします。

アタック240の総合1.2.3位の選手に賞金を贈呈します。

種目/カテゴリー	表彰式	表彰状・副賞	賞金/盾	チャンピオンジャージ
アタック240 総合	1～3位	-	○	○

●年代別表彰/カテゴリー賞

アタック240総合の上位3位までを除外して、4位以下の記録で年代別1位（下記表彰対象）の表彰を行います。

女性カテゴリーは3位までの表彰とチャンピオンジャージを贈呈いたします。

対象種目/カテゴリー	表彰式	表彰状/副賞	賞金/盾	チャンピオンジャージ
アタック240	29歳以下	1位	1位（総合1～3以外）	-
	30代	1位	1位（総合1～3以外）	-
	40代	1位	1位（総合1～3以外）	-
	50代	1位	1位（総合1～3以外）	-
	60歳以上	1位	1位（総合1～3以外）	-
WOMEN	1～3位	1～3位	-	○

●完走記念品/完走証

アタック240の完走者には大会当日、受付にて「完走記念品〈アタックタオル〉」をお渡します。

WEB完走証は〈LAP CLIP ウェブサイト〉にてダウンロード可能です。



パフォーマンス賞

会場を楽ませてもらったチームに、パフォーマンス賞として副賞を贈呈します。

メカニックサポート

移動中や会場で突然起こった 緊急トラブルに対処する頼もしい味方

レースを楽しむには、大会の車両規定を満たすしっかり整備されたバイクで走ることが重要です。レースに来る前にショップや各自で自転車の点検・整備を行うことで会場でのトラブルはかなり防ぐことができますが、不運にも会場への移動中や現地で思わぬトラブルに見舞われてしまうことも。そんな突然のトラブルに対応してくれる頼もしい味方がメカニックサポートです。プロのメカニックが最低限の応急処置を行ってくれます。レースに出るのをあきらめたり、トラブルを放置して出走して重大な事故につながる前に、まずはメカニックサポートに相談してみてください。



※部品交換を必要とするような大がかりな修理には対応できない場合があります。また、簡単な部品交換で対応できる場合は部品代のみ有償となります。交換部品や対応する工具がない場合もあります。あらかじめご了承ください。

※メカニックサービスはレースに出走するための緊急対応のみとなりますので、整備不良車やレース出走後のトラブル対応や調整・整備はお断りさせていただいております。

※メカニックサポートでの応急処置は一時的なものです。レース終了後に必ず専門店で修理や整備を受けてください。



レース経過速報

無料で好きなときにラップタイムや順位をチェック！ ラップ一覧チェックサイト「LAP CLIP」



<https://matrix-sports.jp/lap/> (PC・スマホ対応)

サービスのご利用は上記URLまたはQRコードでアクセス！

スマートフォンやタブレットなどのお手持ちのモバイル端末で、カテゴリー別にチームや選手の順位やラップタイムの速報がいつでも無料で確認できるサービス「LAP CLIP」。無料のサービスながら提供されるデータも充実していて、各周回のラップタイムが1000分の1秒まで詳細に表示される一覧表形式、周回ごとの

推移がビジュアル化されてわかりやすいグラフ形式の表示が選べます。ラップタイムや周回数などのデータは、選手たちがコントロールライン通過後にほぼリアルタイムで更新されるので、常に最新の情報を確認できます。チームのメンバー交代のタイミングを図ったり、ライバルチームの動向を確認したりするなど、レースの戦略を練るのに役立ちます。

※速報データのため、順位・タイムは後から修正される可能性があります。



第25回大会の様子をレポート

<https://suzuka8h.powertag.jp/>

上記URLまたはQRコードでアクセス！



大会の魅力をたっぷり伝えるwebレポートを大会終了後にアップします(11月下旬予定)。レースレポートや大会の裏話、チーム紹介、優勝者のプロフィール、イベントでのエピソードといった読み物を満載した楽しいレポートです。

感動のゴールシーン、サポーターの皆さんの表情を撮った写真もたっぷり掲載します。大会の思い出をwebで追体験してください。



パワータグとゼッケンの取り扱い

自動計測「パワータグ」は個人用のフロントホーク固定式計測タグとチームリレー用のアンクルバンド式計測タグがあります。個人用はソロの参加選手、チーム用は1チームに1個お渡しします。



●個人競技用 計測タグ
(フロントホーク取付)



●チーム用 計測タグ
(アンクルバンドタイプ)

フロントホーク固定式計測タグ (ソロ用)

ソロの参加選手全員に個人用計測タグセット (固定式計測タグ、タイラップ2本) をお渡ししています。使用する自転車に装着してください。

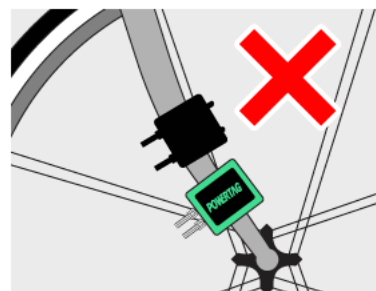
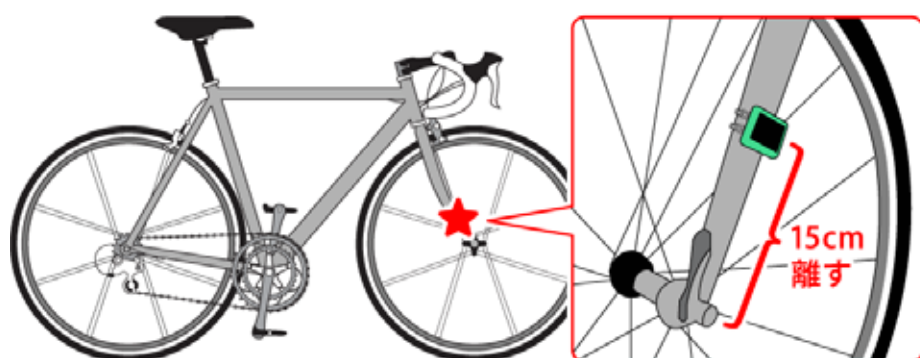
固定式計測タグに貼られているご自分のお名前を確認してから、フロントホーク (イラスト参考) の位置に固定してください。

※ソロの参加選手には個人用固定式計測タグのみお渡ししています。(アンクルバンド式計測タグはありません)



●ソロ用 計測タグセット

- ・計測タグ1個
- ・結束用具 (タイラップ) 2本



❗ ご注意

計測タグはサイクルコンピュータのセンサーを装着しているホークの反対側に取り付けてください。センサーと計測タグを近くに取り付けると、どちらも作動しなくなる場合があります。

アンクルバンド式 計測タグ (チーム用)

エンデューロの記録計測に使用する計測チップはアンクルバンドタイプです。

ライダーの足首に巻きつけて使用しますので下記の注意事項をよく読んで取り扱ってください。

❗ 取り扱いの注意事項

- 1) アンクルバンドタイプの計測チップは足首に巻きつけて走行します。審判員から視認できるように露出して装着してください。(左右どちらでも可)

※手首に巻いたりポケットなどには入れないでください。計測されない場合があります。

- 2) 計測チップの受け渡しは必ず停止して行うこと。走りながらの取り外しや装着、受け渡しは厳禁です。
- 3) 計測チップは精密機器です。ライダー交代の際に投げたりしないでください。落下して記録が計測できなくなることがあります。



アンクルバンドは黒い面を外側 (黄色面を内側) に足首に巻きつけてください。走行中に外れないようしっかり固定してください。

パワータグとゼッケンの取り扱い

計測タグの装着

①



タグ裏面にあるゲタ状台座の穴に、写真のようにタイラップを通します。

②



フロントホークに装着し、タイラップの細い先端を穴に通して強く引きます。

③



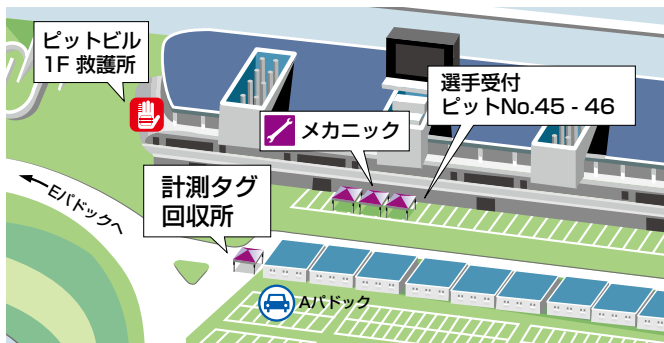
しっかり固定するまでタイラップを引き、ずれたりしないか確認します。

④



固定したら余分なタイラップをニッパーなどで切り取ってください。

計測タグの返却



レース終了後、自動計測器「パワータグ」は計測タグ回収所へ全て返却していただきます。

個人用計測タグは固定したタイラップを切って返却してください。アンクルバンド式計測タグはそのまま返却してください。

※自動計測器「パワータグ」は個人登録されていますので、返却されなかった場合は大会事務局より製作実費5,000円（個人用計測タグ）あるいは7,000円（アンクルバンド式計測タグ）を請求させていただきます。

ゼッケンの取り付け位置

●取り付け方法

ゼッケンは、同封の安全ピンで ジャージ上着の背中左側の腰位置に取り付けていただけます。このとき、下図のように「脇腹のラインにゼッケンの下部が沿うような位置」に取り付けてください。（ゼッケンのナンバーが、左側面と背面から見えるような位置）

●ゼッケンは折り曲げてはいけません

テープ・両面テープのみの取り付けは禁止します。必ず安全ピンでしっかりと取り付けてください。

剥がれた場合は競技を続けることができません。



イベントのご案内

ロトラップでドン！ **参加無料**

8時間表彰後 当選者を発表

ラップタイムと当選番号が一致すれば、賞金最大10万円が当たる！

●時間・場所

16:30の表彰式にて（すべての競技終了後に当選者を発表いたします）

レース前に発表される当選番号（25888）と、レースで1周ごとに記録されるラップタイムの下5桁（〇〇分25秒888）が一致すると当選となり、賞金10万円の賞金を当選者で山分けする「ロトラップでドン！」。8時間／4時間の各エンデューロ、アタック240に出場する全選手・チームが対象で、レースで1周以上走ったら自動的にエントリーされます。賞金は最大10万円。当選した場合、チーム種目に出場している場合はチームに、ソロで出場している場合はその選手に当選権が与えられ、10万円を当選チーム、ソロ選手で均等に割った金額が各当選者の賞金となります。当選者が1チームなら10万円を独占です！

周回を重ねるごとに当選のチャンスが増えていくので、一生懸命走って周回数を稼ぎ“数撃ちや当たる”方式で当選確率を増やすもよし、ラップタイムを調整しながら確実性を高めて当選を狙うもよし。正々堂々周回を完了して、タイムが当選番号と一致したら戦略は成功です。例年当選者が少なく、当選チームが1チームしか出ないことや当選者ゼロの年もあるこの企画。今年高額賞金をゲットするのは、あなたかもしれない！？



ロトラップでドン！実施概要

- 大会前に発表される当選番号と、ラップタイム末尾5桁の数値が一致すると最大で賞金10万円が当たります。
※すべての競技終了後に当選者を発表いたします。
- 賞金：**10万円** 当選番号：**25888**
対象：**全種目** 当選ラップタイム：〇〇分**25秒888**
- 当選者が複数場合は1,000円単位で分配します。
- ソロは個人に、チーム参加の場合はチームに賞金が贈られます。
- 4時間エンデューロ表彰時に当選者の1次発表を行います。全ての競技終了後、最終当選者及び賞金額を発表します。
- 全競技終了後の最終発表時に当選者が不在の場合は、当選権利が失効しますのでご注意ください。

※当選された方は必ずWEB参加確認証またはゼッケンをご持参ください。ご確認できない場合は無効となりますのでご注意ください。

抽選会 **参加無料**

8時間表彰後 / 投票は16:00より受付前

豪華賞品が当たる！
レースが終わったら表彰ステージ前へ！

●じゃんけん大会 時間・場所

4時間エンデューロ 表彰式の終了後引き続き行います
(抽選会会場 表彰ステージ広場)

●抽選会 時間・場所

投票締切 16:00～8時間エンデューロ /アタック240 表彰式終了まで (抽選箱は受付に設置)

抽選会開始 8時間エンデューロ /アタック240 表彰式の終了後引き続き行います (抽選会会場 表彰ステージ広場)

スズカ8時間エンデューロのレース後のお楽しみは、レース参加者なら誰でも参加でき、豪華賞品が次々に登場する抽選会。様々なサイクリスト垂涎のアイテムから、お米をはじめとする家族に喜ばれる品まで豪華賞品が続々登場する予定です。



当選に必要なのは運の強さのみ。レースの成績は関係ありません！レース終了後、会場のメインステージ前に来て、抽選券の半券を抽選箱に入れてください。ここまででしたら、人事を尽くして天命を待つのみ！自分の番号が呼ばれるのを待ちましょう！抽選会が行われるのは8時間エンデューロ終了後の夕方。4時間エンデューロ終了後はじゃんけん大会を開催します。4時間エンデューロに出場の皆さんも、レース終了後すぐに帰宅せずぜひご参加ください！

※当選された方は必ずWEB参加確認証またはゼッケンをご持参ください。ご確認できない場合は無効となりますのでご注意ください。

※賞品贈呈は 当選発表時におのみおこないます。その場で当選者のお申し出がない場合は無効となりますのでご注意ください。



イベントのご案内

バザール

**自転車関係ブースが多数出展。
気になるアイテムを見て、試して、買い物を楽しもう**

●時間・場所

8:00 ~ 16:00予定 (ピットビルとチームオフィスの間にて)

サイクリストがあこがれる自転車や話題のパーツを扱うブランド、ショップなど、協賛各社のブースがひしめくように軒を連ねるバザール。最新モデルや話題になったバイク・アイテムの展示、試乗・試着だけでなく、買い物も楽しめる、スズカ8時間エンデューロの人気イベントのひとつです。

ブースによっては製品の展示だけでなく、試乗や試着用のバイクやホイール、アイウェアやシューズを用意したり、ドリンクやサプリメントの試飲を行ったりするところも。気になるあのアイテムを試すチャンスです！このほかアロマオイルを使ったマッサージがワンコインで試せるブースもあります。

物販を行うブースでは、タイヤやチューブなどの消耗品、サイクルウェア、ドリンクやエナジーフード、サプリメントなどを会場特別価格で販売。消耗品や気になっていた製品を購入するチャンス！会場に来てから何か忘れ物に気付いた場合や、当日の気温や天候によっては欲しくなるレインジャケットやウォーマー類も、ブースで手に入れられるかも？



**新製品から試乗車まで
出展ブースのご案内**

ウェブサイトにて、ご出展各社の
ブースをご紹介します。



https://suzuka8h.powertag.jp/2024/04_1.html#d3

イベントのご案内

ロードレース講習会

参加無料

「安全に走るためにすべきこと」を マトリックス・パワータグの選手が伝授

- 講師：チームマトリックス
- 時間・場所

6:20～（開始5分前までに表彰会場に集合）

※講習後に試走される場合は試走時間がタイトになる為、走れる準備をしてお越しください。

スズカ8時間エンデューロは初心者も楽しめるイベントを目指しており、レースが初めてという方も多く参加します。そこで本大会では、初心者の方が感じやすい集団走行への不安を解消し、安全な集団走行のために守るべきルールやちょっとしたコツなどを学んでもらう機会として、ロードレース講習会を毎年開催しています。

講習会はホワイトボードや自転車を使った講義を行います。講師を務めるのは、国内最高峰の自転車ロードレースで活躍する本大会のホストチーム、マトリックス・パワータグの選手たちです。



講義では、走行前に簡単にできるバイクの安全点検の方法、レースの安全な走り方とNG行動、鈴鹿サーキットを走る際の事故多発地点と注意点、集団走行のポイントなどを10分ほどにギュッと濃縮して説明します。

この講習会を「初心者講習会」としていないのは、レース初心者だけでなく、久しぶりのイベントで集団走行に不安を感じる方にも参加していただきたいからです。ある程度レース経験のある方が集団走行のスキルについて改めて学び直し、レース中に周囲で何かあったときにうまく立ち回るのにも役立つ内容です。皆さんの参加をお待ちしています！



MC紹介 エンデューロの草分け！25周年おめでとうございます。 記念すべき大会を目いっぱい楽しめるようマイクから応援します！

PROFILE スポーツMCシンジさん (Team REAL)



俳優～ナレーター～スポーツMCと転身し、全国各地のスポーツイベントを盛り上げる。選手の気持ちが少しでもわかるようにと始めたロードバイクにもすっかりはまり、マイクを持つか！乗るか！で年中、自転車に関わっている。国内のUCI公認ロードレース、グランfondや、ロングライドイベント、ヒルクライムレース、マウンテンバイクレースなどでMCを務める経験豊富なスポーツMC。明瞭なMCで軽快にスポーツイベントを盛り上げます。

PROFILE MC CHOCOさん



スポーツMC・アスリートタレント。
2014年～関西を中心にスポーツや自転車関連イベントへMC・ゲスト・レース実況として多数出演。過去にロードレース、シクロクロス、MTBなどの自転車競技にシーズンを通して挑戦。自身でも初心者向けのサイクリイベントを開催し、女性を代表した視点からのトークや元女子サッカー選手という経歴からくる明るさが持ち味。

ホストチーム紹介

マトリックスパワータグ プロフェッショナルサイクリングチーム

<https://team-matrix.jp/>

株式会社マトリックスがメインスポンサーで、大阪府高石市を拠点とし監督を筆頭に相も変わらずイケメンが揃った少年のような19年目のチームは、2019～2022年のJプロツアー個人/チーム総合優勝の4連覇、チーム7連勝、個人シーズン6勝、個人総合最多5勝、その他にも最年長の世界的レジェンドや現シクロクロスチャンピオンなどなどの記録持ちが多く在籍。そして遂にチームから全日本チャンプも誕生！

毎年名言を打つチームが今季掲げる言葉は「勝安」「勝つこと安し」

勝ちへの拘り、勝負への拘り、そして無事に帰還すること。全てを安らかにさせる「勝ち」こそが真の勝者。

揺るがず惑わされず真っ直ぐに突き進む姿勢が強クさせ、そしてその実力を兼ね備えた強者ほど安全であること。他を否定し己の評価を上げるは単に安もん、己の実力で勝負しろ！穏やかなようで穏やかじゃない、魂込めた二文字掲げ、体現させたチャンプ小林海（マリノ）を筆頭に鋭進中！



シーズン振り返り 「勝安」勝つこと安し

シクロクロスの現全日本チャンプ織田 聖やキプロス2017年チャンプのアレクサンドロスの加入、そして久しぶりにジュニア卒業した2名の研修生が入り、若々しいエッセンスが加わってスタートした2024年。レースを重ねる毎にチーム結束力を発揮して成績は上向き傾向、そして迎えるシーズントップの全日本選手権で小林 海が勝利！皆が歓喜で涙しこの上ないシーズンとなっている。来季はチーム創立から20年目、これまで重ねてきた歴史の一つ一つが大切な礎、全てに感謝！そして新たな歴史を重ねるべく前進し続けていきます。



2024年 戦歴

3月 Jプロツアー真岡芳賀ロードレース	優勝	ホセ・ビセンテ・トリビオ
4月 Jプロツアー東日本ロードクラシックDay1	2位	アレクサンドロス・アグロティス
	3位	フランシスコ・マンセボ
4月 Jプロツアー西日本ロードクラシックDay1	2位	小林海
5月 ツール・ド・熊野	山岳賞 総合1位	小林海
	ポイント賞 総合3位	アレクサンドロス・アグロティス
	チーム 総合2位	マトリックスパワータグ
6月 全日本選手権ロードレース	優勝	小林海
9月 Jプロツアー経済産業大臣旗ロード チャンピオンシップ/南魚沼ロード	団体優勝	マトリックスパワータグ
10月 おおいたアーバンクラシック	4位	小林海



Photo : Satoru Kato / Itaru Mitsui / Yosuke Suga / Yuta Fuji

ホストチーム紹介

ヤスハラ マサヒロ / Director

61才・170cm・66kg

安原 昌弘 (JPCA)

●アトランタオリンピック代表、世界選手権代表9回、1995年アジア選手権優勝

●10代の頃から国体や全日本選手権優勝など輝かしい実績を重ね、世界選手権9連続出場など国内外で活躍。そして1996年にはアトランタオリンピックの代表となる。その後もプロロード選手として活動を続けながら2006年にマトリックスパワータグを設立し今季16年目。これまでの数々の実績や幅広い経験、知識から成るその人柄から多くの支持を受け、2020年には全日本実業団自転車競技連盟の理事長に就任。競技界を支え牽引しながらも生涯現役、現在もチーム監督継続中。



マンセボ ペレス フランシスコ / Rider

48才・175cm・65kg

MANCEBO PEREZ Francisco (スペイン)

●2005年ツール・ド・フランス総合4位、ブルータ・エスパーニャ総合3位、2019年ロンダ・フィリピナス個人総合優勝、2020年JPT経済産業大臣旗優勝、2021年播磨中央公園クリテリウムDay1優勝、広島さくらロードレースDay1優勝、2021年おおいだアーバンクラシック優勝、2022年まえばし赤城山ヒルクライム優勝、2023年JPT経済産業大臣旗優勝、2024年JPT東日本ロードクラシック3位

●世界的なスーパーレジェンドとしてその名は知られ、今もなお走り続けている数少ない選手。レジェンドらしい風格漂う一見とは異なりチームの中でも明るく陽気、しかしレースになると誰よりも熱い走りは今も昔も変わらない。多くの人から愛される彼のその魅力はやはり世界トップレベルと言えるでしょう。



トリビオ アルコレア ホセ ビセンテ / Rider

38才・175cm・64kg

TORBIO ALCOLEA Jose Vicente (スペイン)

●ブルータ・ア・エスパーニャに3度出場、2013年、2014年、2016年、2017年、2021年 JPT個人総合1位、2019年赤城山ヒルクライム優勝、2020年おおいだサイクルロードレース優勝、2021年Jプロツアー播磨中央公園クリテリウム優勝、広島さくらロードレース優勝、ツアー・オブ・ジャパン第2ステージ優勝、2022年かすみがうらロードレース優勝、ツール・ド・おきなわ3位、2024年JPT真岡芳賀ロードレース優勝

●2013年の来日から日本チームに在籍しJプロツアーで活躍、既に国際レースで多くの実績を持つ彼は次々と勝利を重ね、これまでに4回もの個人総合優勝を果たす。2015年よりマトリックスパワータグに所属しエースとしてチームを初の総合優勝に導き今もトップで走り続ける。和食はもちろん日本文化を好む日本人より日本人らしい和の誠心の持ち主だが、走りは情熱の国スペインそのもの。炎のような走りでもレースを熱くさせる。



アレクサンドロス アグロティス / Rider

26才・176cm・67kg

Agrotis Alexandros (キプロス)

●2017年キプロス選手権ロード優勝ほか国内選手権2位×2回、ITT2位×3回、2022年Israel Cycling Academy (CT)で活動、キプロス人初のワールドサイクリングチーム入り、2024年JPT東日本ロードクラシック2位、ツール・ド・熊野ポイント総合3位



ヤスハラ ダイキ / Rider

33才・175cm・62kg

安原 大貴 (大阪)

●2015年JPT桐池高原ヒルクライム3位、2018年JPT東日本群馬ロード (Day2) 4位、2019年西日本チャレンジロード優勝、2021年JPT個人総合9位、2022年JPT播磨中央公園ロードレース5位

●RR14位 TDH74位 国体RR6位

●自転車競技部の名門、奈良県立榛生昇陽高等学校自転車競技部を経て日本大学自転車競技部での競技活動途中から、2011年にマトリックスパワータグに入団。チーム監督の安原昌弘氏の息子として知られているが、現在はチーム在籍10年のベテランとしてチームを勝利へ導く名アシスト筆頭メンバー。幾度もアタックを重ねるその熱い走りに魅了されるファンも多い。



ハシモト リョウスケ / Rider

32才・168cm・75kg

橋本 凌甫 (和歌山)

●2015年JBCF西日本/東日本トラック2大会連続スプリント・ケイリン優勝、2015年国民体育大会スプリント優勝



コバヤシ マリノ / Rider

30才・173cm・64kg

小林 海 (埼玉)

●2016年全日本選手権ロードU23優勝、全日本選手権タイムトライアルU23優勝、GP Tetuan (スペイン) 優勝、2019年ツアー・オブ・ジャパン新人賞3位・総合8位、全日本選手権ロードレース 7位、2022年TOJ山岳賞、個人総合5位、TDK個人総合3位、JPT6勝 (6月までの7戦中/6勝)、JPT個人総合優勝、2024年JPT西日本ロードクラシック2位、ツール・ド・熊野山岳賞総合1位、全日本選手権ロードレース優勝、おおいだアーバンクラシック4位



オダ ヒジリ / Rider

25才・177cm・68kg

織田 聖 (埼玉)

●シクロクロス全日本選手権2023、2024優勝 (2連覇)、2022年ツールド熊野ステージ3位、総合5位、2019年全日本選手権ロードMU 6位

●2016- 弱虫ペダルサイクリングチーム/2021 Team NIPPO-Provence-PTS Conti/2022、2023 EF Education-NIPPO Development



タクボ ケンジ / Rider 29才・168cm・57kg

田窪 賢次 (大阪)

- 2015年JBCF西日本トラックポイントレース2位、2017年JPTまえばし赤城山ヒルクライム2位、JPT石川ロードレース2位
- RR17位 (U23)



ウエマス カズユキ / T Rider 27才・172cm・65.3kg

植益 和行 (大阪)

- 2020年JBCF西日本トラックポイントレース優勝、オムニアム3位



オカザキ カズキ / T Rider 19才・173cm・65kg

岡崎 一輝 (静岡)

- 石川クリテリウムジュニア2022優勝、古殿ロードレースジュニア2022優勝、東京都ウィンターロードレース2023 (クラスA) 2位
- 学生からエンデューロなどの草レース、高校1年生よりJBCFに参戦



ハシモト コウヤ / T Rider 18才・177cm・70kg

橋本 昂哉 (大阪)

- 舞洲クリテリウム(大阪大会)2連覇、全国選抜ポイントレース2位、全国選抜ロードレース11位、ツアーオブ九州個人総合9位、近畿大会ロードレース2位



マナベ カズユキ / E Rider 54才・172cm・65kg

真鍋 和幸 (香川)

- 1996年アトランタオリンピック代表、1994年、1997年全日本実業団選手権優勝、2011年東日本実業団ロード2位



ナガラ ダイセイ / E Rider 50才・180cm・64kg

永良 大誠 (兵庫)

- 2014年西日本チャレンジ2位、2013年石川ロードレース8位

- 陸上競技選手として実業団チームを持つ姫路市の山陽特殊製鋼株式会社に入社、現在に至る。陸上選手としての活動を終了したのち自転車競技へ転向、その高い実績から2010年にプロチームのマトリックスパワータグへ入団、フルタイムワーカーの傍らでプロ競技活動をするという異例のプロチーム入団はかなり衝撃的ニュースで「最速のビジネスマンレーサー」と当時話題になりました。現在はトップカテゴリーのレースからは退きましたが、チームのベテランサポートライダーとしてイベントでのサポートや指導、地元のレーサー達とのトレーニングや指導など自転車競技普及のために活動し続けています。

